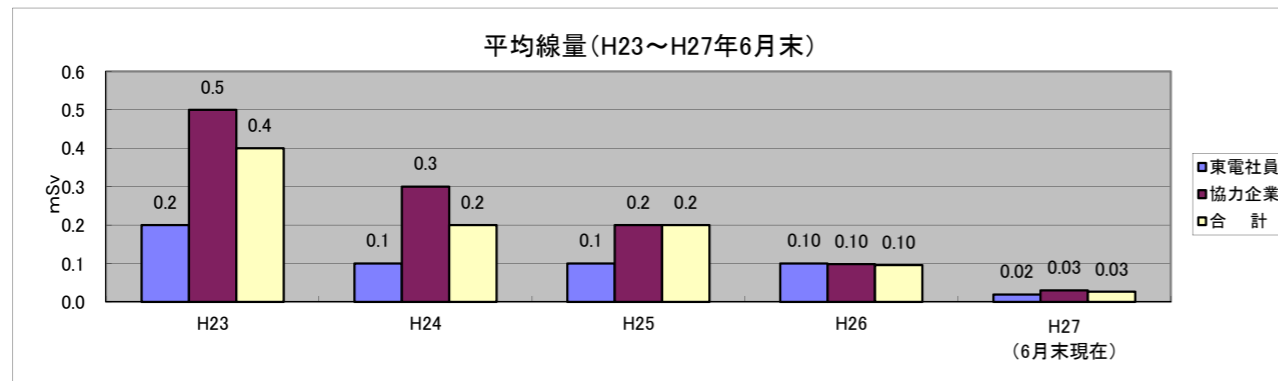
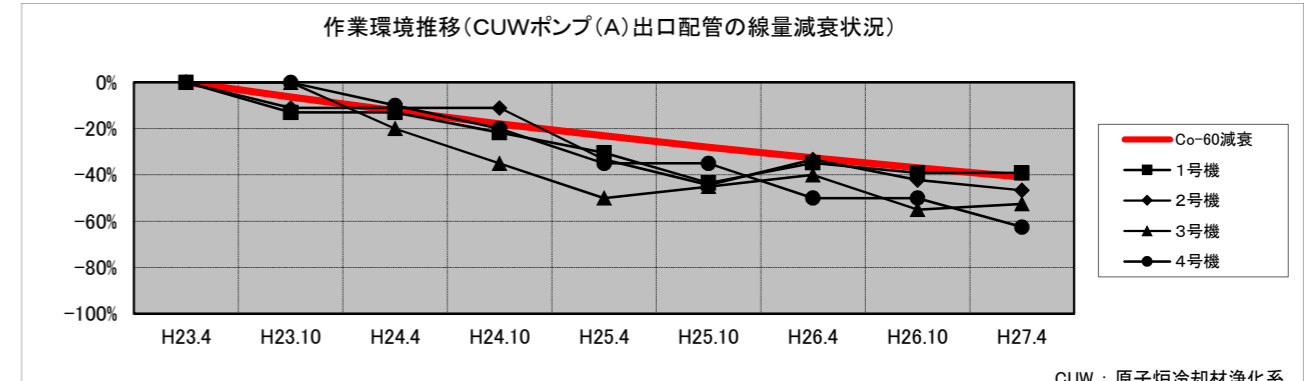
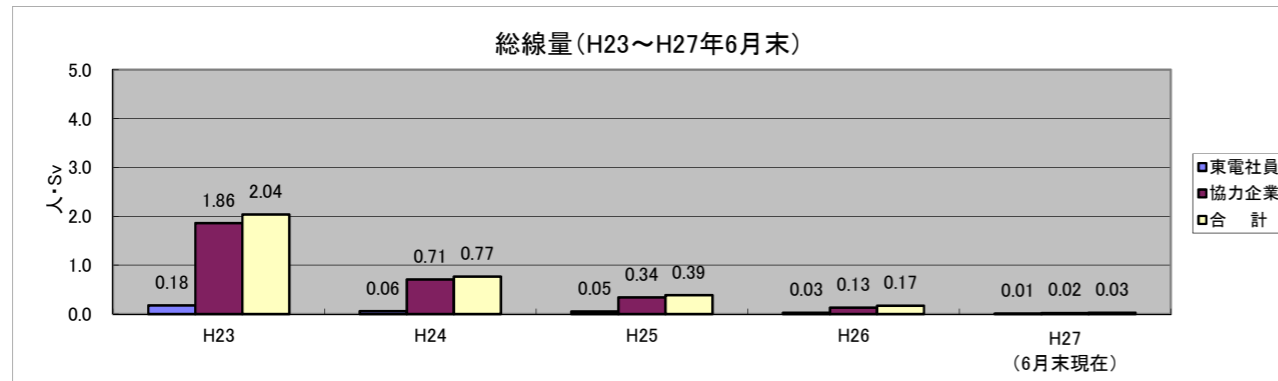
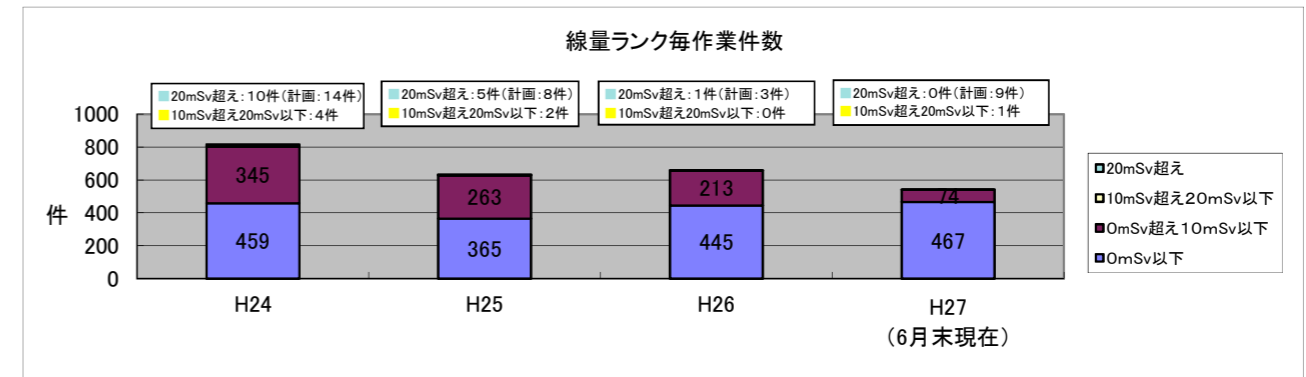
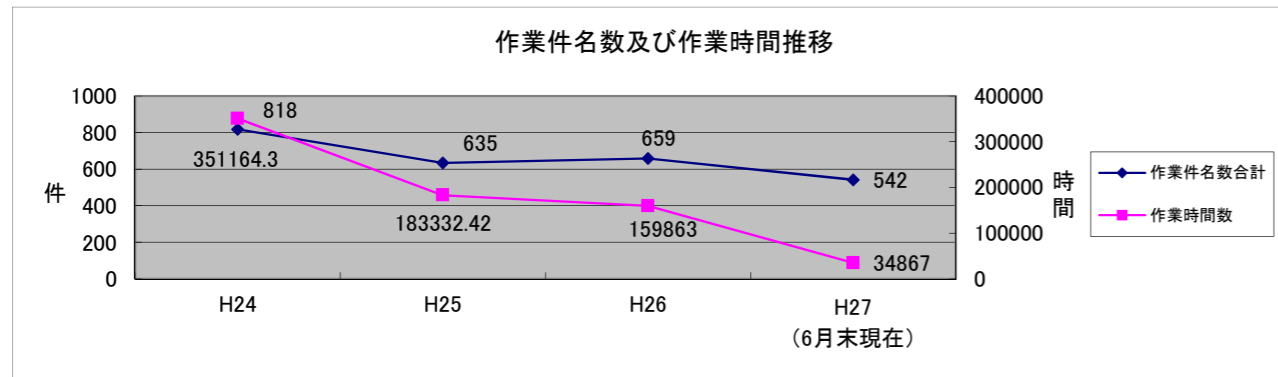


福島第二原子力発電所 放射線業務従事者数および線量状況について

平成27年9月2日

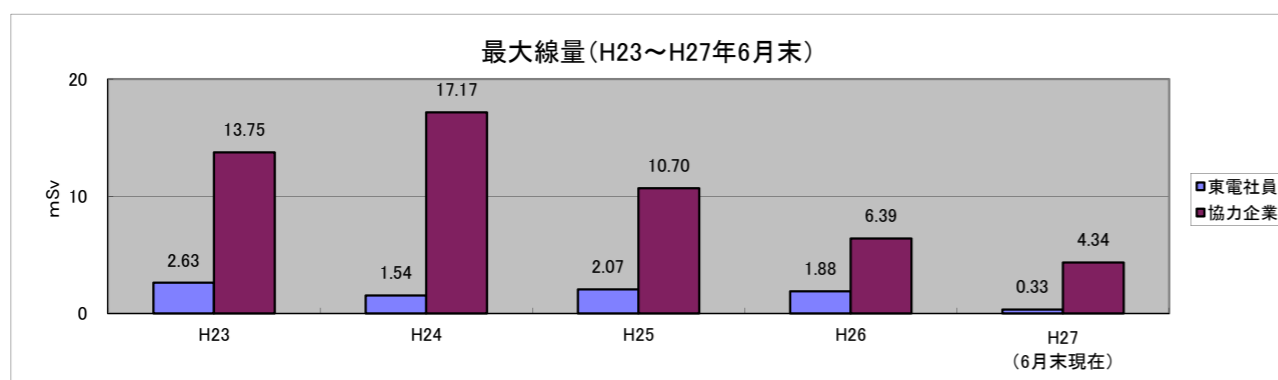
東京電力(株)
福島第二原子力発電所

資料3-2



【H27年6月末実績】
◆H26年6月末との比較
 ○ H26年6月末では、放射線業務従事者数が1107人、総線量が0.03人・Sv、平均線量が0.02mSv、最大線量が社員0.53mSv、協力企業が0.58mSv、作業件数が466件、作業時間が35800時間である。
 H26年6月末時点で作業件数が増加しているが、作業時間は減少となっていることから、総線量や平均線量が同程度で推移していると思われる。
 また、最大線量については、社員については減少しているが、協力企業については、増加となっている。これは4月6日から5月25日にかけて3号機のCUW系配管修理工事に従事したことによる被ばくであるが、問題となる被ばくは発生していない。
 線量ランク毎の件数では、H26年6月末で、10mSv超えの作業はなかったがH27年6月末で1件となっている。これは最大線量の件名と同じ3号機のCUW系配管修理工事によるものである。

○ 今後の作業予定を考慮するとH26年度と比較して同程度の0.16人・Sv程度となることが予想される。



【H27年度線量計画】
◆線量低減対策
 ○ 予想総線量が20人・mSv以下の作業
 作業前に提出される放射線管理計画書で線量低減対策等の計画を確認するとともに、追加または改善できる線量低減対策があれば協力企業に提案、指導助言を行う。
 日々の線量実績を確認し、日計画線量に対する超過者の有無などを確認する。
 作業後に提出される放射線管理報告書で線量低減対策等の実績を確認するとともに、次回作業や他号機作業へ反映事項がある場合はそれらを展開する。

○ 予想総線量が20人・mSvを超える作業 (H27年度は9件実施予定)
 上記予想総線量が20人・mSv以下の作業における線量低減対策に加え以下を実施。
 放射線管理計画書の事前検討会を協力企業と実施し、作業内容・作業手順・作業環境・日計画線量・線量低減対策等を詳細に確認する。
 作業の進捗に応じて予想線量に対する実績を確認する。また、線量低減対策の実施状況を現場パトロールで確認し、改善すべき内容があれば協議する。

